

1. プロトコル

RS-232C 準拠/RS-485 (Half Duplex) 準拠

Start Bit	1
Stop Bit	1
Data Bit	8
Parity Even	
Data Rate	1 2 0 0, 2 4 0 0, 4 8 0 0, 9 6 0 0bps 可変
Code	ASCII
ターミネート	CR LF

2. Write コマンド

マルチプレクサ (MCS-1640) が Menu を表示している状態ではコマンドを受け付けません。
「MENU+CR,LF」を返します。

2-1. Answer

「GO+CR,LF」	正常受信、正常実行
「GN+CR,LF」	正常受信であるが MODE が違うため実行しない
「E 0+CR,LF」	フレーミングエラー
「E 1+CR,LF」	パリティエラー
「E 2+CR,LF」	オーバーランエラー
「E 3+CR,LF」	コマンドエラー
「MENU+CR,LF」	Menu 状態
「LOCK+CR,LF」	Lock 状態
「ALARM+CR,LF」	Alarm 状態
「FREEZE+CR,LF」	Freeze 状態
「BYPASS+CR,LF」	VCR Bypass 状態

2-2. Command

2-2-1. 「ADTnn+CR,LF」 (Alarm Duration Time)

ALARM DURATION TIME の設定をします。

nnn は時間で単位は、秒です。設定範囲は【001】～【999】秒です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-2. 「AICB+CR,LF」 (Alarm Input Contact Break)

ALARM INPUT CONTACT の設定を【BREAK】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-3. 「AICM+CR,LF」 (Alarm Input Contact Make)

ALARM INPUT CONTACT の設定を【MAKE】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-4. 「AME+CR,LF」 (Alarm Mode External)

ALARM MODE の設定を【EXT.】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-5. 「AMI+CR,LF」 (Alarm Mode Internal)

ALARM MODE の設定を【INT.】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-6. 「ARB+CR,LF」 (Alarm Return Before.)

ALARM RETURN の設定を【BEFORE】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-7. 「ARF+CR,LF」 (Alarm Return Fix)

ALARM RETURN の設定を【FIX】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-8. 「AVP2+CR,LF」 (Alarm VCR Pattern 2H)

ALARM VCR PATTERN の設定を【2H】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-9. 「AVPF+CR,LF」 (Alarm VCR Pattern Fix)

ALARM VCR PATTERN の設定を【FIX】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-10. 「AVPN+CR,LF」 (Alarm VCR Pattern None)

ALARM VCR PATTERN の設定を【NONE】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-11. 「BLB+CR,LF」 (Border Line Black)

BORDER LINE の設定を【BLACK】に設定します。

2-2-12. 「BLW+CR,LF」 (Border Line White)

BORDER LINE の設定を【WHITE】に設定します。

2-2-13. 「BLO+CR,LF」 (Border Line Off)

BORDER LINE の設定を【OFF】に設定します。

2-2-14. 「C01+CR,LF」～「C09+CR,LF」 (Camera ch.1～16)

カメラのチャンネル No. 1～9 を選択します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと Alarm 状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「GN+CR,LF」を返し強制解除をしません。

Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

Freeze 状態の時に、このコマンドを受けますと「FREEZE+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-15. 「CA01*****+CR,LF」～「CA09*****+CR,LF」

(Character title ch. 1～9)

各チャンネルのタイトルキャラクタを設定します。

タイトルの文字長さは8文字なので8文字未満の場合は、スペース文字を設定してください。

*印はキャラクタで別紙の ASCII Code 表を参照してください。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-16. 「CCA+CR,LF」 (Connector Connection Alarm)

REMOTE IN の設定を【ALARM】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-17. 「CCR+CR,LF」 (Connector Connection Remote)

REMOTE IN の設定を【REMOTE】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-18. 「C A S F+CR,LF」 (Camera Auto Sequence Full)

単画面オートシケンスのカメラ切換えを選択します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと Alarm 状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「GN+CR,LF」を返し強制解除をしません。

Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

Freeze 状態の時に、このコマンドを受けますと Freeze を強制解除します。

2-2-19. 「C A S M+CR,LF」 (Camera Auto Sequence Multi)

分割画面オートシケンスのカメラ切換えを選択します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと Alarm 状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「GN+CR,LF」を返し強制解除をしません。

Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

Freeze 状態の時に、このコマンドを受けますと Freeze を強制解除します。

2-2-20. 「CM4 A+CR,LF」～「CM4 B+CR,LF」 (Camera Multi 4 分割 A～B)

カメラの4分割A～4分割Bを選択します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと Alarm 状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「GN+CR,LF」を返し強制解除をしません。

Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

Freeze 状態の時に、このコマンドを受けますと Freeze を強制解除します。

2-2-21. 「CM9 A+CR,LF」 (Camera Multi 9 分割)

カメラの9分割を選択します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと Alarm 状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「GN+CR,LF」を返し強制解除をしません。

Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

Freeze 状態の時に、このコマンドを受けますと Freeze を強制解除します。

2-2-22. 「C A S T n n+CR,LF」 (Camera Auto Sequence Time)

AUTO SEQ. TIME の設定をします。

n n n は時間で単位は、秒です。設定範囲は【0 0 1】～【9 9 9】秒です。

2-2-22. 「C T F O N+CR,LF」 (Character Title Full On)

TITLE MONITOR FULL の設定を【ON】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-24. 「C T F O F+CR,LF」 (Character Title Full Off)

TITLE MONITOR FULL の設定を【OFF】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-25. 「C T M O N+CR,LF」 (Character Title Multi On)

TITLE MONITOR MULTI の設定を【ON】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-26. 「C T M O F+CR,LF」 (Character Title Multi Off)

TITLE MONITOR MULTI の設定を【OFF】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-27. 「C T V O N+CR,LF」 (Character Title VCR output On)

TITLE VCR OUTPUT の設定を【ON】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-28. 「CTVOF+CR,LF」 (Character Title VCR output Off)

TITLE VCR OUTPUT の設定を【OFF】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-29. 「CX01nn+CR,LF」～「CX09nn+CR,LF」

(Character title position X座標)

各チャンネルの TITLE POSITION のX座標 (横) を設定します。

nnは座標値で範囲は、【01】～【17】です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-30. 「CY01nn+CR,LF」～「CY09nn+CR,LF」

(Character title position Y座標)

各チャンネルの TITLE POSITION のY座標 (縦) を設定します。

nnは座標値で範囲は、【03】～【12】です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-31. 「DSDnn+CR,LF」 (Date Set Day)

日付の日の単位の設定をします。

nnは設定値で範囲は【01】～【31】です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-32. 「DSMnn+CR,LF」 (Date Set Month)

日付の月の単位の設定をします。

nnは設定値で範囲は【01】～【12】です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-33. 「DSYnn+CR,LF」 (Date Set Year)

日付の年の単位の設定をします。

nnは設定値で範囲は【00】～【99】です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-34. 「ENON+CR,LF」 (Event Number On)

ALARM EVENT NUMBER の設定を【ON】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-35. 「ENOF+CR,LF」 (Event Number Off)

ALARM EVENT NUMBER の設定を【OFF】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-36. 「ER+CR,LF」 (Event memory Reset)

記憶されているアラームのイベントメモリを全て消去します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-37. 「FON+CR,LF」 (Freeze On)

Playback (VCR 再生画面) 時、画面を Freeze します。

Playback (VCR 再生画面) 時でない場合に、このコマンドを受けますと「GN+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。。

2-2-38. 「FOF+CR,LF」 (FREEZE OFF)

Playback (VCR 再生画面) 時、FREEZE されている画面を解除します。

Playback (VCR 再生画面) 時でない場合に、このコマンドを受けますと「GN+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

- 2-2-39. 「L S F 0 1 L+CR,LF」～「L S F 0 9 L+CR,LF」 (Live channel Sequence Full Live)
LIVE CHANNEL SEQUENCE FULL の各チャンネルの設定を【L I V E】に設定します。
- 2-2-40. 「L S F 0 1 S+CR,LF」～「L S F 0 9 S+CR,LF」 (Live channel Sequence Full Skip)
LIVE CHANNEL SEQUENCE FULL の各チャンネルの設定を【S K I P】に設定します。
- 2-2-41. 「L S M 4 A L+CR,LF」～「L S M 9 A L+CR,LF」 (Live channel Sequence Multi Live)
LIVE CHANNEL SEQUENCE MULTI の各チャンネルの設定を【L I V E】に設定します。
- 2-2-42. 「L S M 4 A S+CR,LF」～「L S M 9 A S+CR,LF」 (Live channel Sequence Multi Skip)
LIVE CHANNEL SEQUENCE MULTI の各チャンネルの設定を【S K I P】に設定します。
- 2-2-43. 「L V 0 1 L+CR,LF」～「L V 0 9 L+CR,LF」 (Live channel VCR Live)
LIVE CHANNEL VCR の各チャンネルの設定を【L I V E】に設定します。
Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「A L A R M+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。
- 2-2-44. 「L V 0 1 S+CR,LF」～「L V 0 9 S+CR,LF」 (Live channel VCR Skip)
LIVE CHANNEL VCR の各チャンネルの設定を【S K I P】に設定します。
Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「A L A R M+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。
- 2-2-45. 「L O N+CR,LF」 (Lock On)
フロントスイッチにロックをかけ操作を不可能にします。
また、RS-232C コマンド、リモートによるチャンネル切換えも受け付けません。
Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「A L A R M+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。
Playback (VCR 再生画面) 状態、VCR Bypass 状態の時に、このコマンドを受けますと
「G N+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。
- 2-2-46. 「L O F+CR,LF」 (Lock Off)
フロントスイッチのロック状態を解除します。
Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「A L A R M+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。
Playback (VCR 再生画面) 状態、VCR Bypass 状態の時に、このコマンドを受けますと
「G N+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。
- 2-2-47. 「P 0 1+CR,LF」～「P 0 9+CR,LF」 (Playback ch. 1～9)
Playback (VCR 再生画面) チャンネル No. 1～9 を選択します。
Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「A L A R M+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。
Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「L O C K+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。
Freeze 状態の時に、このコマンドを受けますと「F R E E Z E+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。
- 2-2-48. 「P A O N+CR,LF」 (Playback Alarm On)
CAMERA←P.B の設定を【O N】に設定します。
Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「A L A R M+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。
- 2-2-49. 「P A O F+CR,LF」 (Playback Alarm Off)
CAMERA P.B の設定を【O F F】に設定します。
Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「A L A R M+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-50. 「PM4 A+CR,LF」～「PM4 B+CR,LF」 (Playback Multi 4分割 A～B)

Playback (VCR 再生) の4分割 A～4分割 Dの画面を選択します。

「PM4 A+CR,LF」 1～4チャンネル

「PM4 B+CR,LF」 5～8チャンネル

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

Freeze 状態の時に、このコマンドを受けますと「FREEZE+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-51. 「PM9 A+CR,LF」 (Playback Multi 9分割)

Playback (VCR 再生) の9分割の画面を選択します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

Freeze 状態の時に、このコマンドを受けますと「FREEZE+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-52. 「SM0 1+CR,LF」～「SM0 9+CR,LF」 (Spot Monitor ch.1～9)

SPOT MONITOR のチャンネル設定をします。

2-2-53. 「TSDD+CR,LF」 (Time Signal Display D/M/Y)

TIME SIGNAL DISPLAY の設定を【D/M/Y】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-54. 「TSDM+CR,LF」 (Time Signal Display M-D-Y)

TIME SIGNAL DISPLAY の設定を【M-D-Y】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-55. 「TSDY+CR,LF」 (Time Signal Display Y.M.D)

TIME SIGNAL DISPLAY の設定を【Y. M. D】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-56. 「TSFON+CR,LF」 (Time Signal monitor Full On)

TIME SIGNAL MONITOR FULL の設定を【ON】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-57. 「TSFOF+CR,LF」 (Time Signal monitor Full Off)

TIME SIGNAL MONITOR FULL の設定を【OFF】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-58. 「TSMON+CR,LF」 (Time Signal monitor Multi On)

TIME SIGNAL MONITOR MULTI の設定を【ON】に設定します。

2-2-59. 「TSMOF+CR,LF」 (Time Signal monitor Multi Off)

TIME SIGNAL MONITOR MULTI の設定を【OFF】に設定します。

2-2-60. 「TSVON+CR,LF」 (Time Signal VCR output On)

TIME SIGNAL VCR OUTPUT の設定を【ON】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-61. 「TSVOF+CR,LF」 (Time Signal VCR output Off)

TIME SIGNAL VCR OUTPUT の設定を【OFF】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-62. 「T S A+CR,LF」 (Time Set Adjust)

時刻の秒の単位を00に設定します。

その時の時刻が30秒未満の場合00秒に合わせます。

その時の時刻が30秒以上の場合00秒に合わせ分の単位を+1します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-63. 「T S H n n+CR,LF」 (Time Set Hour)

時刻の時の単位の設定をします。

n nは設定値で範囲は【00】～【23】です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-64. 「T S M n n+CR,LF」 (Time Set Minute)

時刻の分の単位の設定をします。

n nは設定値で範囲は【00】～【59】です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-65. 「T S S n n+CR,LF」 (Time Set Second)

時刻の秒の単位の設定をします。

n nは設定値で範囲は【00】～【59】です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-66. 「V B+CR,LF」 (VCR Bypass)

VCR Through (Bypass) Mode に切り換えます。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

Freeze 状態の時に、このコマンドを受けますと「FREEZE+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-67. 「V L M O O F+CR,LF」 (Video Loss Monitor Out Off)

VIDEO LOSS MONITOR OUT の設定を【OFF】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-68. 「V L M O O N+CR,LF」 (Video Loss Monitor Out On)

VIDEO LOSS MONITOR OUT の設定を【ON】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-69. 「V L V O O F+CR,LF」 (Video Loss VCR Out Off)

VIDEO LOSS VCR OUT の設定を【OFF】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-70. 「V L V O O N+CR,LF」 (Video Loss VCR Out On)

VIDEO LOSS VCR OUT の設定を【ON】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-71. 「V L C n n+CR,LF」 (Video Live Color nn)

VIDEO LIVE COLOR の設定を【n n】に設定します。

n nは数値で設定範囲は【00】～【15】です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-72. 「V P C n n+CR,LF」 (Video Playback Color nn)

VIDEO P.B. COLOR の設定を【n n】に設定します。

n nは数値で設定範囲は【00】～【15】です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-73. 「VRC nn+CR,LF」 (Video Record Color nn)

VIDEO RECORD COLOR の設定を【nn】に設定します。

nn は数値で設定範囲は【00】～【15】です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-74. 「VTF nnn+CR,LF」 (VCR Trigger Field nnn)

VCR TRIGGER FIELD の設定を【nnn】に設定します。

nnn は Field 数で設定範囲は【002】～【999】です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-75. 「VTMH+CR,LF」 (VCR Trigger Mode High)

VCR TRIGGER MODE の設定を【HIGH】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-76. 「VTML+CR,LF」 (VCR Trigger Mode Low)

VCR TRIGGER MODE の設定を【LOW】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-77. 「VTMO+CR,LF」 (VCR Trigger Mode Off)

VCR Trigger Mode の設定を【OFF】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

3.Read コマンド

3-1.異常時 Answer

「E 0+CR,LF」	フレーミングエラー
「E 1+CR,LF」	パリティエラー
「E 2+CR,LF」	オーバーランエラー
「E 3+CR,LF」	コマンドエラー

3-2.Command

3-2-1.「RAE+CR,LF」 (Read Alarm Event 件数)

記録されているアラーム Event の件数を返します。

「00+CR,LF」～「100+CR,LF」

3-2-2.「RADT+CR,LF」 (Read Alarm Duration Time)

ALARM DURATION TIME の設定値を返します。単位は秒です。

「001+CR,LF」～「999+CR,LF」 【001】～【999】

3-2-3.「RAIC+CR,LF」 (Read Alarm Input Contact)

Alarm Input Contact の設定を返します。

「AICM+CR,LF」	【MAKE】
「AICB+CR,LF」	【BREAK】

3-2-4.「RAM+CR,LF」 (Read Alarm Mode)

ALARM MODE の設定を返します。

「AME+CR,LF」	【EXT.】
「AMI+CR,LF」	【INT.】

3-2-5.「RAR+CR,LF」 (Read Alarm Return)

ALARM RETURN の設定を返します。

「ARF+CR,LF」	【FIX】
「ARB+CR,LF」	【BEFORE】

3-2-6.「RAVP+CR,LF」 (Read Alarm VCR Pattern)

ALARM VCR PATTERN の設定を返します。

「AVF+CR,LF」	【FIX】
「AV2+CR,LF」	【2H】
「AVN+CR,LF」	【NONE】

3-2-7.「RBL+CR,LF」 (Read Border Line)

BORDER LINE の設定を返します。

「BLB+CR,LF」	【BLACK】
「BLW+CR,LF」	【WHITE】
「BLO+CR,LF」	【OFF】

3-2-8.「RCA01+CR,LF」～「RCA09+CR,LF」 (Read Character title ch.1～9)

各チャンネルのキャラクタタイトル設定を返します。

「*****+CR,LF」

3-2-9.「RCC+CR,LF」 (Read Connector Connection)

REMOTE IN の設定を返します。

「CCA+CR,LF」	【ALARM】
「CCR+CR,LF」	【REMOTE】

- 3-2-10. 「RCAST+CR,LF」 (Read Camera Auto Sequence Time)
 AUTO SEQ. TIME の設定値を返します。単位は秒です。
 「001+CR,LF」～「999+CR,LF」 【001】～【999】
- 3-2-11. 「RCTF+CR,LF」 (Read Character Title monitor Full)
 TITLE MONITOR FULL の設定を返します。
 「CTFON+CR,LF」 【ON】
 「CTFOF+CR,LF」 【OFF】
- 3-2-12. 「RCTM+CR,LF」 (Read Character Title monitor Multi)
 TITLE MONITOR MULTI の設定を返します。
 「CTMON+CR,LF」 【ON】
 「CTMOF+CR,LF」 【OFF】
- 3-2-13. 「RCTV+CR,LF」 (Read Character Title VCR output)
 TITLE MONITOR VCR OUTPUT の設定を返します。
 「CTVON+CR,LF」 【ON】
 「CTVOF+CR,LF」 【OFF】
- 3-2-14. 「RCX01+CR,LF」～「RCX09+CR,LF」
 (Read Character title position X座標 ch.1～9)
 各チャンネルの TITLE POSITION のX座標 (横) 設定値を返します。
 「01+CR,LF」～「17+CR,LF」 【01】～【17】
- 3-2-15. 「RCY01+CR,LF」～「RCY09+CR,LF」
 (Read Character title position Y座標 ch.1～9)
 各チャンネルの TITLE POSITION のY座標 (縦) 設定値を返します。
 「03+CR,LF」～「12+CR,LF」 【03】～【12】
- 3-2-16. 「RE01+CR,LF」～「RE100+CR,LF」 (Read alarm Event memory)
 アラームの EVENT MEMORY のData を返します。
 「c h y y m m d d h h M M s s+CR,LF」
 ch=チャンネルNo. yy=年 mm=月 dd=日 hh=時 mm=分 ss=秒
- 3-2-17. 「REN+CR,LF」 (Read Event Number)
 ALARM EVENT NUMBER の設定を返します。
 「ENON+CR,LF」 【ON】
 「ENOF+CR,LF」 【OFF】
- 3-2-18. 「RF+CR,LF」 (Read Freeze)
 Freeze の状態を返します。
 「FON+CR,LF」 Freeze On
 「FOF+CR,LF」 Freeze Off
- 3-2-19. 「RL+CR,LF」 (Read Lock)
 Lock の状態を返します。
 「LON+CR,LF」 Lock On
 「LOF+CR,LF」 Lock Off

3-2-20. 「RLSF01+CR,LF」～「RLSF09+CR,LF」

(Read Live channel Sequence Full ch.1～9)

各チャンネルのLIVE CHANNEL SEQUENCE FULLの設定を返します。

「SKIP+CR,LF」	【SKIP】
「LIVE+CR,LF」	【LIVE】

3-2-21. 「RLSM4A+CR,LF」～「RLSM9A+CR,LF」

(Read Live channel Sequence Multi 4A～9A)

各チャンネルのLIVE CHANNEL SEQUENCE MULTIの設定を返します。

「SKIP+CR,LF」	【SKIP】
「LIVE+CR,LF」	【LIVE】

3-2-22. 「RLV01+CR,LF」～「RLV09+CR,LF」 (Read Live channel VCR ch.1～9)

各チャンネルのLIVE CHANNEL VCRの設定を返します。

「SKIP+CR,LF」	【SKIP】
「LIVE+CR,LF」	【LIVE】

3-2-23. 「RM+CR,LF」 (Read Mode)

MCS-940の現在の状態を返します。

「CAS F+CR,LF」	単画面オートシケンスで動作中
「CAS M+CR,LF」	分割画面オートシケンスで動作中
「C01+CR,LF」～「C09+CR,LF」	カメラ ch.
「CM4A+CR,LF」	カメラ4分割A
「CM4B+CR,LF」	カメラ4分割B
「CM9A+CR,LF」	カメラ9分割
「P01+CR,LF」～「P09+CR,LF」	Playback ch.
「PM4A+CR,LF」	Playback 4分割A
「PM4B+CR,LF」	Playback 4分割B
「PM9A+CR,LF」	Playback 9分割
「A01+CR,LF」～「A09+CR,LF」	Alarm 保持中 ch.
「BYPASS+CR,LF」	VCR Bypass
「MENU+CR,LF」	Menu 表示中

3-2-24. 「RPA+CR,LF」 (Read Playback Alarm)

CAMERA←P.Bの設定を返します。

「ON+CR,LF」	【ON】
「OFF+CR,LF」	【OFF】

3-2-25. 「RSM+CR,LF」 (Read Spot Monitor)

SPOT MONITORの設定を返します。

「SM01+CR,LF」～「SM09+CR,LF」

3-2-26. 「RTD+CR,LF」 (Read Time & Date)

マルチプレクサ (MCS-940) の日付&時刻を返します。

「yy. mm. dd hh:MM:ss+CR,LF」
 yy=年 mm=月 dd=日 hh=時 MM=分 ss=秒

3-2-27. 「RTSD+CR,LF」 (Read Time Signal Display)

TIME SIGNAL DISPLAYの設定を返します。

「TSDD+CR,LF」	【D/M/Y】
「TSDM+CR,LF」	【M-D-Y】
「TSDY+CR,LF」	【Y. M. D】

- 3-2-28. 「R T S F+CR,LF」 (Read Time Signal monitor Full)
 TIME SIGNAL MONITOR FULL の設定を返します。
 「T S F ON+CR,LF」 【ON】
 「T S F OF+CR,LF」 【OFF】
- 3-2-29. 「R T S M+CR,LF」 (Read Time Signal monitor Multi)
 TIME SIGNAL MONITOR MULTI の設定を返します。
 「T S M ON+CR,LF」 【ON】
 「T S M OF+CR,LF」 【OFF】
- 3-2-30. 「R T S V+CR,LF」 (Read Time Signal VCR output)
 TIME SIGNAL VCR OUTPUT の設定を返します。
 「T S V ON+CR,LF」 【ON】
 「T S V OF+CR,LF」 【OFF】
- 3-2-31. 「R V L M O+CR,LF」 (Read Video Loss Monitor Out)
 VIDEO LOSS MONITOR OUT の設定を返します。
 「V L M O ON+CR,LF」 【ON】
 「V L M O OF+CR,LF」 【OFF】
- 3-2-32. 「R V L V O+CR,LF」 (Read Video Loss VCR Out)
 VIDEO LOSS VCR OUT の設定を返します。
 「V L V O ON+CR,LF」 【ON】
 「V L V O OF+CR,LF」 【OFF】
- 3-2-33. 「R V L C+CR,LF」 (Read Video Live Color)
 VIDEO LIVE COLOR の設定を返します。
 「0 0+CR,LF」 ～ 「1 5+CR,LF」 【0 0】 ～ 【1 5】
- 3-2-34. 「R V P C+CR,LF」 (Read Video Playback Color)
 VIDEO P.B. COLOR の設定を返します。
 「0 0+CR,LF」 ～ 「1 5+CR,LF」 【0 0】 ～ 【1 5】
- 3-2-35. 「R V R C+CR,LF」 (Read Video Record Color)
 VIDEO RECORD COLOR の設定を返します。
 「0 0+CR,LF」 ～ 「1 5+CR,LF」 【0 0】 ～ 【1 5】
- 3-2-36. 「R V T M+CR,LF」 (Read VCR Trigger Mode)
 VCR TRIGGER MODE の設定を返します。
 「V T M H+CR,LF」 【H I G H】
 「V T M L+CR,LF」 【L O W】
 「V T M O+CR,LF」 【O F F】
- 3-2-37. 「R V T F+CR,LF」 (Read VCR Trigger Field)
 VCR TRIGGER FIELD の設定を返します。
 「0 0 2+CR,LF」 ～ 「9 9 9+CR,LF」 【0 0 2】 ～ 【9 9 9】

4. ご注意

RS-485 で使用の場合 Command の先頭に Slave Address の番号を付けます。

Answer Back の先頭にも Slave Address の番号が付きます。

Command の発行と同時に MCS-940 のフロントスイッチを操作されますと誤った Answer を返すことがあります。

Command の発行を連続で行う場合 1 0 0 mseconds. 以上の間隔をあけて下さい。

Title キャラクタ設定 (C A Command) の発行を連続で行う場合 5 0 0 mseconds. 以上の間隔をあけて下さい。

ASCII CODE表 (16進)

SPACE	020H	a	061H	タ	0C0H
		b	062H	チ	0C1H
:	03AH	c	063H	ツ	0C2H
<	03CH	d	064H	テ	0C3H
>	03EH	e	065H	ト	0C4H
—	02BH	f	066H		
.	02EH	g	067H	ナ	0C5H
/	02FH	h	068H	ニ	0C6H
		i	069H	ヌ	0C7H
0	030H	j	06AH	ネ	0C8H
1	031H	k	06BH	ノ	0C9H
2	032H	l	06CH		
3	033H	m	06DH	ハ	0CAH
4	034H	n	06EH	ヒ	0CBH
5	035H	o	06FH	フ	0CCH
6	036H	p	070H	ヘ	0CDH
7	037H	q	071H	ホ	0CEH
8	038H	r	072H		
9	039H	s	073H	マ	0CFH
		t	074H	ミ	0D0H
A	041H	u	075H	ム	0D1H
B	042H	v	076H	メ	0D2H
C	043H	w	077H	モ	0D3H
D	044H	x	078H		
E	045H	y	079H	ヤ	0D4H
F	046H	z	07AH	イ	0A8H
G	047H			ユ	0D5H
H	048H	ア	0B1H	エ	0AAH
I	049H	イ	0B2H	ヨ	0D6H
J	04AH	ウ	0B3H		
K	04BH	エ	0B4H	ラ	0D7H
L	04CH	オ	0B5H	リ	0D8H
M	04DH			ル	0D9H
N	04EH	カ	0B6H	レ	0DAH
O	04FH	キ	0B7H	ロ	0DBH
P	050H	ク	0B8H		
Q	051H	ケ	0B9H	ワ	0DCH
R	052H	コ	0BAH	ン	0DDH
S	053H			ツ	0AFH
T	054H	サ	0BBH	ヤ	0ACH
U	055H	シ	0BCH	ユ	0ADH
V	056H	ス	0BDH	ヨ	0AEH
W	057H	セ	0BEH	ア	0A7H
X	058H	ソ	0BFH	オ	0ABH
Y	059H			ゝ	0DEH
Z	05AH			。	0DFH